

「日本橋シティドレッシング for TOKYO 2020」への協力について

～日本橋に渡嘉敷来夢選手の大型グラフィックが登場！～

記者各位

当社(社長:杉森 務)は、三井不動産株式会社が主催し、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が共催する「日本橋シティドレッシングfor TOKYO 2020」(2016年9月20日(火)から10月10日(月)まで)に協力しますので、お知らせいたします。

当企画は、日本橋エリアにおいて、東京2020大会エンブレムやリオ2016オリンピック・パラリンピック日本代表選手の肖像を大型グラフィック等により、街全体を装飾するものです。当社はリオ2016オリンピックにおいて、バスケットボール女子日本代表チームを20年振りのベスト8進出に導いた渡嘉敷来夢選手(当社JX-ENEOSサンフラワーズ所属、現在は米国でプレー中)を「コレド室町1」の壁面に掲出いたします。世界で活躍する渡嘉敷選手をこの機会にご覧下さい。

また、同エリアでは、映像体感イベント「Go for 2020 Street」も開催され、リオ2016大会の日本代表選手団の映像を映し出し、臨場感溢れる雰囲気と感動が再現されます。当社は、TVCM「聖火はいつも未来を照らす」編を提供することにより、“いよいよ東京にオリンピック・パラリンピックがやってくる”をテーマとした当企画を盛り上げてまいります。

当社は、行動指針の一つである「社会との共生」のもと、スポーツ・文化の振興や次世代育成を積極的に推進するとともに、東京2020ゴールドパートナー(石油・ガス・電気供給)として、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントの推進活動を展開し、東京2020大会の成功に向けて全社を挙げて貢献してまいります。

以上

【渡嘉敷選手のグラフィックイメージ】



【3面LEDパネルによる映像体感イベントイメージ】

